



2025年7－9月期四半期別GDP速報（1次速報値） における推計方法の変更等について

令和7年10月28日
内閣府経済社会総合研究所
国民経済計算部

1. 季節調整について

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して設定してきた異常値処理のダミー変数は、統計委員会国民経済計算体系的整備部会における議論¹を踏まえ、2024年7－9月期四半期別GDP速報（2次速報値）以降、当面の間は引き続き、外れ値の判定に用いる信頼区間を99%として加法型異常値処理のダミー変数を設定する。設定したダミー変数については、毎回の四半期別GDP速報の公表時に併せて公表する。

なお、速報期間（2024年1－3月期以降）の処理は、暫定的な処理であり、この手法により設定したダミー変数の取り扱いについては、2024年国民経済計算年次推計を反映する2025年7－9月期四半期別GDP速報（2次速報値）において、再度検証する²。

2. R&D（研究・開発）の産出額について

R&Dの市場生産者分の産出額は、直近の第一次年次推計値をベンチマークとしつつ、直近で利用可能となる「全国企業短期経済観測調査」（短観）（日本銀行）における研究開発投資額等に基づき推計を行っている。

また、非市場生産者である対家計民間非営利団体分及び一般政府分のR&D産出額は、直近の第一次年次推計値を、トレンドで延長推計して当年度値を求めた上で、前年度のパターンで四半期分割して推計している。

今期の四半期別GDP速報における2025年度中の各四半期におけるR&Dの産出額（市場生産者分計）の推計値は、表1のとおりとなる³。

¹ 統計委員会国民経済計算体系的整備部会（第35回及び第39回）

(https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/singi/toukei/sna/kaigi.html)

² 各期の2次速報値の推計において設定した異常値処理は、原則として、2025年7－9月期四半期別GDP速報（1次速報値）までは変更しない。2025年4－6月期四半期別GDP速報（2次速報）において設定した速報期間（2024年1－3月期以降）のダミー変数については、2025年4－6月期四半期別GDP速報（2次速報）「結果の概要」資料を参照。

(https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/data_list/sokuhou/files/2025/qe252_2/pdf/gaiyou2522.pdf)

³ 非市場生産者（民間企業設備のうち対家計民間非営利団体分、公的固定資本形成のうち一般政府分）の2025年度のR&D産出額の推計値は、2025年4－6月期四半期別GDP速報（1次速報値）時点から変更はない。推計値については、「2025年4－6月期四半期別GDP速報（1次速報値）における推計方法の変更等について」（令和7年7月28日）の表2を参照。

(https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/reference1/siryou/2025/pdf/announce_20240728.pdf)

(表1) 市場生産者(民間企業・公的企業合計)分のR&D産出額

年度／四半期	金額 (兆円)	対前年度(同期)比 伸び率(%)
2025年度	19.2	5.6
4-6月期	4.6	5.6
7-9月期	4.7	5.6
10-12月期	4.8	5.6
1-3月期	5.0	5.6

(注) 名目、控除可能な消費税額を含むグロス値。四半期は原系列。

3. 供給側推計の9月の補外方法の変更

供給側推計のうち、表2に記載の分類については、2025年9月値の補外方法を変更のうえ推計する。それ以外の分類は、従来どおりの補外推計とする。

(表2)

小(91)分類	欠落月補外方法
76 情報サービス、映像・音声・文字情報制作 (細品目で推計)	「76 情報サービス、映像・音声・文字情報制作」のうち、ゲームソフトに関しては、2025年9月値を通常補外 ⁴ で推計すると、前年7、8月が低水準であったことにより、当期の前年比が過去数年間と比較して高い結果となった。そのため、「サービス産業動態統計」の産業細分類「ゲームソフトウェア業」の2023年7、8月から2025年7、8月の伸び率を2023年9月値に乗じることで、2025年9月値を補外する。

(以上)

⁴ 「サービス産業動態統計」(総務省)の小分類「ソフトウェア業」を「2025年1-3月期四半期別GDP速報(1次速報値)における推計方法の変更等について」(令和7年5月2日)に記載の方法で分割して求めた2024年の「ゲームソフトウェア業」の計数を用いて、補外する方法。